

2020年1月14日
株式会社Viibar

BtoB動画サービスを展開するViibar IRIS、電通とオリジナルコンテンツを共同開発、広告商品の販売を開始

株式会社Viibar（本社：東京都品川区、代表取締役CEO：上坂優太、以下Viibar）はこの度、タクシー搭載デジタル・サイネージTokyo Prime内で放映されるオリジナルコンテンツ、「Tokyo Prime News」、「Tokyo Prime Voice」を株式会社IRIS（本社：東京都千代田区、代表取締役：海本 桂多、宇木 大介、以下IRIS）、株式会社 電通（本社：東京都港区、社長：五十嵐 博、以下電通）と共同開発し、放映を開始いたします。

これまでの静止画コンテンツを中心とした放映に加え、タクシーユーザーの興味関心の高いトピック、イベント、商品、サービス、芸術作品などにフォーカスした独自のコンテンツを放映し、タクシー乗車体験の向上を目指します。

本プロジェクトにおいては、上記3社でコンテンツ企画、制作、商品開発を行います。

「Tokyo Prime News」

タクシーユーザーの興味関心の高いトピックやイベント情報等をお届けします。
2019年12月9日より実施したテスト放映では、「EAFF E-1 サッカー選手権 2019 決勝大会」のイベント情報をお届けしました。



「Tokyo Prime Voice」

素晴らしい商品やサービス、芸術作品などを開発、創作している企業、開発者、アーティスト、文化人等にフォーカスした独自インタビューをお届けします。

2019年12月16日より実施したテスト放映では、日本最大級のモビリティビジネス・プラットフォーム「TLUNCH」を展開する株式会社Mellow（本社：東京都渋谷区 代表：石澤 正芳、森口 拓也）にフォーカスしたインタビューをお届けしました。



また、「Tokyo Prime News」、「Tokyo Prime Voice」に広告主が有償でスポンサードできる広告商品の販売も本日より開始いたします。

詳細はViibar、IRIS、電通の担当者までお問合せください。

今後もViibarは、インターネットやリアル空間における動画の視聴体験を向上させ、人と社会の可能性を広げ続けます。

■ 株式会社Viibarについて

Viibarは「企業向け動画サービス」、「メディア向け動画サービス」、「SaaS」の3つの事業を軸にサービスを展開しています。企業向け動画サービスでは、目的と媒体に合わせた動画の企画・制作や動画広告の運用を支援。メディア向け動画サービスでは、動画を軸としたメディアの開発・運営、事業開発などを支援しています。また、SaaSでは、コンテンツ制作を効率化するクラウド制作管理ツールなどを提供しています。

代表取締役：上坂優太

■ 株式会社IRISについて

2016年6月に都内最大手のタクシー会社である日本交通グループのJapanTaxi株式会社と、株式会社フリークアウト・ホールディングスの合併会社として設立。全国主要10都市25,000台の車両に設置される新世代デジタル・サイネージ「Tokyo Prime」を開発・提供しています。

代表取締役：海本 桂多、宇木 大介

■ 株式会社 電通について

「Integrated Communication Design」を事業領域としたコミュニケーション関連の統合的ソリューションの提供、経営・事業コンサルティングなどを行っています。

社長：五十嵐 博

【本件の問い合わせ】

株式会社Viibar

担当　：広報 内藤

E-mail　：pr@viibar.com

Web　　：https://viibar.com/

株式会社IRIS

担当　：高橋

E-mail　：info@tokyo-prime.jp

Web　　：https://ads.tokyo-prime.jp/

株式会社 電通

担当　：佐藤/田村

E-mail　：tp.office@dentsu.co.jp